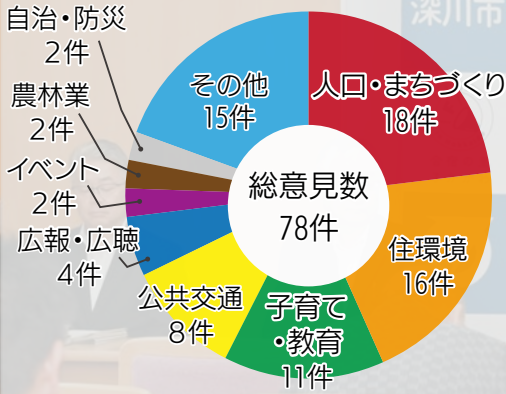


「市長タウンミーティング」を開催しました

市長が市民のみなさんの意見や思いを直接伺う場として、市長と語ろう！まちの未来をみんなで考える「ふかがわの未来」市長タウンミーティングを6月25日、27日に市内5会場で開催しました。各会場延べ44名の出席者から寄せられた主な意見と市長の回答を紹介します。

【5会場の総意見数および内訳】



問合先 秘書課秘書広報係(☎26-2216)

1 人と人のつながりを意識したまちづくりが必要と考えます。スポーツと文化活動のつながり、ヒーロー・ヒロイン同士のつながり、子どもを見て年配者が元氣を出すような世代間のつながり、この3つを意識したまちづくりが必要と考えます。

「どこをつなぐのか」ということがうまくいっていないと考えています。スポーツと文化、各界で活躍している方々はいますので、何か知恵を絞りたいと考えています。また、世代間をつなぐという意味では、こどもまんなかサポーター宣言、こども子育て条例などで直接声を聞く機会などを設けてきましたが、その延長線上で何かできるよう検討していきます。

2 カムイスキーリンクスは旭川より深川からの方がアクセスが良く、観光振興に役立たないかと考えています。4割くらいは外国人の方がスキーをしているようですので、ハイヤーのスキーキャリア取り付けやクレジットカードの対応などは必要ですが、ビジネスにつながればと考えます。

同感で、本市の方がアクセスが良いと考えており、本市を拠点としてカムイスキーリンクスへというのは良いと考えています。また、まあぶの「コテージ」に海外の方が長期滞在するといったこともあるため、海外の方が本市を拠点としてもらえるようなことが実現できればと考えています。

3 子育て世代は市政や地域活動に関心を持っているものの、託児サービスがないため今回のような行事への参加が難しい実態があります。今後、子育て世代の参加促進に向けて開催方法や運営体制をどのようにしていきますか。

各種会合などにおける託児の必要性については重要であると感じています。また、サークルの方々との対話の機会ということであれば、市長とふれあいトークという事業があるため活用いただければと思います。

4 高齢者がデジタル化についていけないため、高齢者用の相談窓口が必要と考えます。

情報弱者へのフォローは足りていないと認識しています。デジタル化の波には抗えませんが、ハードルを下げるような取り組みを進めていきたいと考えています。

5 移住対策として関係人口創出に向けた取り組みが行われていますが、空き家は経年劣化があり、入る人はいないと考えます。

老朽化している空き家を活用することは難しいですが、空き家となるタイミングでのマッチングや移住希望者へ紹介などを進めています。

6 水道事業について、配管更新などの今後の見通しを不安に思っています。

水道管の延長は約369kmで、耐震性能が整っている管は少ないですが、腐食などは進んでいないため、大規模な地震などがなければ使い続けられる状態です。

市長とふれあいトーク 開催団体を随時募集!

町内会やNPO法人、スポーツサークルなど、団体からの意見や思いを市長が直接伺う場として「市長とふれあいトーク」の開催団体を随時募集しています。

「まちづくり」や「地域課題」など、特定のテーマに絞った核心に迫る話し合いを市長と一緒にしませんか?

申し込みなどの詳細は、市ホームページを確認してください。また、託児サービスが必要な場合は申し込み時に相談してください。



市ホームページ